北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光事業論Ⅱ	科目コード	1219	単位数	3
担当者名	佐藤　博樹	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	D,F	実務経験	無
ナンバリング	JTb504	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本講では、観光事業の概要を学んだ後、個々の観光事業ごとに事業の内容、特性、現状、課題などについてデータや視聴覚資料をまじえながら具体的に検討します。それらを踏まえて、各観光事業が抱える課題をブレークスルーするための方策や未来戦略についても考察します。その際、各観光事業における環境配慮への取り組みについても随時触れます。

到達目標

①個々の観光事業の内容、特性、現状、抱える課題について、データに基づきながら理解し、修得したそれら知識に基づいて他者に各観光事業について説明できるようになる。
②視聴覚資料も参考にしながら個々の観光事業の現場が抱える課題とその解決に向けた取り組みについて当事者感覚で共感・理解し、自らも具体的な解決策を提案できるようになる。

授業内容

1週目 観光の定義と観光がもたらす多面的効果、観光産業と観光事業、地域観光事業の展開、観光立地と観光開発などについて
2週目 観光地と観光振興について
3週目 旅行業について（１）（旅行業の定義、機能、メリット、３大業務等）
4週目 旅行業について（２）（旅行業の歴史、旅行会社の分類と代表的な旅行会社等）
5週目 旅行業について（３）（取扱商品、セールス方法、ビジネスモデルの変化等）
6週目 ホテル業・旅館業について（１）（宿泊業の分類、現況、経営状況等）
7週目 ホテル業・旅館業について（２）（ホテルの分類、歴史、所有・運営のしくみ等）
8週目 ホテル業・旅館業について（３）（日本旅館、温泉観光ホテル等）
9週目 航空輸送事業（１）（航空輸送の概念と分類、航空輸送サービスの特性等）
10週目 航空輸送事業（２）（航空自由化、レガシーキャリア、ローコストキャリア等）
11週目 航空輸送事業（３）（アライアンス、空港とその経営問題等）
12週目 テーマパーク事業（１）（テーマパークの定義、特徴、コンセプトとテーマ性、分類、立地、現状と課題等）
13週目 テーマパーク事業（２）（ケーススタディー：①TDR、②USJ、③HTB、④その他）
14週目 鉄道輸送事業（１）（運輸機関輸送分担率、鉄道事業者の分類と事業の種類等）
15週目 鉄道輸送事業（２）（鉄道事業の役割、観光対象としての鉄道事業、主要国内鉄道事業会社の概要と経営上の課題等）
16週目 試験の返却、講評等を実施する。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・予習と復習は基本的に講義資料を熟読し、併せてmanabaで配信するオンデマンド動画教材を視聴して理解を深めること。
・予習：毎回の授業で指示された配付資料の箇所を予め熟読し、A4用紙１枚にキーワード・専門用語等を要約して、バインダーにファイリングしていくこと。併せてmanabaで配信するオンデマンド動画教材を視聴しておくこと。(90分程度)
・復習：図書館やインターネットで講義内容に対応した関連図書や情報を随時チェックし、知識を増やすよう努めること。併せてLMSで配信するオンデマンド動画教材を再度視聴し直すこと(90分程度)

成績評価の方法・基準

・成績評価は、４回実施するテストの平均点を基本として行います。

履修上の留意点

・講義は原則として対面で実施し、オンデマンド動画教材も同時に配信します。
・成績評価は原則として、11週以上授業に出席した学生を対象に行います。
・講義の受講時におけるマナー・注意事項について注意を受け、改善の兆しがない者は不合格となることがあります。

課題に対するフィードバックの方法

・試験の返却と講評は、原則として試験実施の翌週の授業の中で行います。

テキスト

「特になし」。自作の資料プリントを随時配布します。manabaでオンデマンド動画教材も配信します。

参考書

・高橋一夫・柏木千春編著『1からの観光事業論 第2版』(中央経済社)2,970円
・加藤弘治『観光ビジネス未来白書 2025』（同友館）3,080円

更新日付

2026/01/09 04:04